

レジリアンスプロジェクト第6回ワークショップ

日時： 平成20年12月5日（金）12:30-15:30 12月6日（土）10:00-15:40

場所： 総合地球環境学研究所 セミナー室3・4
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
Tel. +81-75-707-2242 Fax.+81-75-707-2506

12月5日（金）

12:30-13:00 受付

（総合司会 久米 崇）

13:00-13:20

開会の挨拶・レジリアンスプロジェクトの経過説明
「社会・生態システムの脆弱性とレジリアンス」
梅津 千恵子 （総合地球環境学研究所）

個別発表プログラム（発表15分、質疑5分）

13:20-14:20 セッション1 司会 梅津

13:20-13:40 ザンビア南部州におけるヒューマンネットワーク
石本 雄大 （総合地球環境学研究所）

13:40-14:00 環境変化を考慮に入れた社会脆弱性研究
島田 周平 （京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）

14:00-14:20 ザンビア・セントラル州C村の荒廃と近代的農法の導入
半澤 和夫 （日本大学生物資源科学部）

14:20-14:30 休憩

14:30-15:30 セッション2 司会 吉村

14:30-14:50 ザンビアの災害対応体制と食糧援助の実態
松村 圭一郎 （京都大学大学院人間・環境学研究科）

14:50-15:10 村落レベルの生業活動追跡のための時空間データ収集
山下 恵（学校法人 近畿測量専門学校）、宮崎 英寿（総合地球環境学研究所）

15:10-15:30 2007-2008年雨季の気象データ解析
菅野 洋光（（独）農業・生物特定専門技術研究機構 東北農業研究センター）

第25回レジリアンス研究会（地球研講演室）

16:00-17:15 干ばつ対処：南アフリカ、そして南部アフリカ地域
坪 充（鳥取大学乾燥地研究センター・准教授）

12月6日(土)

10:00-11:00 セッション3 司会 真常

10:00-10:20 力学と構造安定性からみたレジリエンス

久米 崇 (総合地球環境学研究所)

10:20-10:40 ペタウケ県の試験地の植生について

三浦 励一・竹中祥太郎(京都大学大学院農学研究科)、 Elias Tembo (ZARI)

10:40-11:00 Ex Ante and Ex Post Shock Coping Strategies: Evidences From Southern and Western Province

Thamana LEKPRICHAKUL (総合地球環境学研究所)

11:00-11:10 休憩

11:10-12:10 セッション4 司会 島田

11:10-11:30 Prevalence of undernutrition and overnutrition in Zambia: A re-examination

Thamana LEKPRICHAKUL (総合地球環境学研究所)

11:30-11:50 中央州の村における小規模灌漑の変化について

児玉谷 史郎 (一橋大学大学院社会学研究科)

11:50-12:10 ザンビア南部州農家家計の資産保有とレジリエンス

櫻井 武司 (和光大学経済経営学部)

12:10-13:10 昼食

13:10-14:40

テーマごとの総括と展望 (司会 梅津)

テーマⅠ 環境変動下での人間活動と生態レジリエンス

真常 仁志 (京都大学大学院農学研究科)

テーマⅡ 不確実な環境に対する世帯とコミュニティの対応

櫻井 武司 (和光大学経済経営学部)

テーマⅢ 脆弱性増大のポリティカル・エコロジーとレジリエンス

島田 周平 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

テーマⅣ 社会-生態システムに対する統合解析

吉村 充則 ((財) リモート・センシング技術センター)

14:40-15:40 総合討論

15:40 ワークショップ閉会